

あたま 市議会だより

第66号

令和8年
(2026)
5月8日

- P 2～7 令和8年2月定例会
質疑および一般質問（要旨）
- P 8 議会のはてな
議会からの報告・お知らせ
- P 9 令和8年2月定例会 議決結果（本会議）
- P 10 賛否が分かれた議案・討論
- P 11 委員長報告
- P 12 議会からのお知らせ
次回令和8年6月定例会の主な日程

令和8年2月定例会について

2月定例会は、2月19日から3月13日まで23日間の会期で開催し、議案26件、報告5件、同意1件について審議し原案のとおり可決等されました。



表紙写真：熱海観光局主催にて市内小学生を対象にした巣箱づくり体験&巣箱の設置の様子



発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1 TEL 0557-86-6644 FAX 0557-82-7287

Email gikai@city.atami.lg.jp



熱海市議会HP

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。



こしむら おさむ
越村 修 議員

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■庁舎再編 ■高齢者いきいき
ポイント事業

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



小児・妊婦等のインフルエンザ予防接種について 仮称南あたま子ども園について

質問 市内小中学校及び幼稚園、保育園におけるインフルエンザ罹患による学級閉鎖の状況は。

答弁 幼稚園は12月に1園、園児と幼稚園教諭がインフルエンザに罹患したことにより、マンパワーの不足から3日間休園、小学校は8日間、中学校では1日学級閉鎖した。

質問 インフルエンザ予防接種の小児及び妊婦の方への助成についてはPTAなど教育関連団体からも要望の

声がある。流行がピークを迎える前の今年の10月からの助成制度の創設について強く要望するが市長の考えは。

答弁 事業効果等を検証したうえで実施に向けた具体の検討を進めていく。

質問 仮称南熱海子ども園の建設中は多賀幼稚園の延長保育が利用不可とのこと。保護者より困惑の声が上がっているが対応策は。

答弁 工事の状況に左右されることもあり現段階では難しいところ

もあるが保護者のご希望にも添えるように努めていく。

質問 多賀小の通学路変更について関係者より要望があつたと思うが対応状況はどうか。

答弁 グリーンベルトによる安全性の確保を基本に対応していく。

要望 現在工事計画等が示されていないため詳細が不明な状況。まずは工事期間中、交通誘導員の確保をしっかりと行い児童が安全に通学できるように要望する。

熱海市育英事業奨学金について

「書かない窓口」の導入について

質問 熱海市育英事業奨学金の応募者が1名、採用者はゼロで、昨年度新設した特定職種型の応募もなかった。制度の抜本的見直しが必要では。

答弁 応募減少の要因は、高校授業料無償化や国県の支援制度が充実したことが主な要因と考えている。貸与型においては経済的理由から進学を諦めてしまう学生徒が希望を持てるよう、また特定資格取得型においては、条件の見直しや新たな形を含め現在よりも利用しやすい制度に改正し運用する。

質問 「書かない窓口」の導入で、どのような効果が見込まれるか。マイナカードを利用しない市民や操作に不安のある高齢者への支援は。

答弁 証明書用マルチコピー機を第1庁舎総合窓口付近に設置することで、窓口カウンターとの物理的レイン分けが可能となることから、比較的時間を要する転入手続等に職員対応の集中化が図られる。マイナカード等を利用して証明書等各種申請書類の自動作成と本人確認が同時にでき、手書きの煩わしさが解消され利便性が向上する。マイナカードをお持ちでない方、利用しない方は、これまで同様に申請書による記載手続きとなるがシステム導入による窓口分散化が図れ、手続き時間が短縮する。デジタル機器の操作も職員による丁寧な案内やサポートのもと安心して利用いただけるよう努める。



はしもとかずみ
橋本一実 議員

熱海市民クラブ
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■伊豆山復興と持続可能なまちづくり ■健全化判断比率の見直し

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



いなむら ちひろ 議員
稲村千尋

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
(副委員長)
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■ 行政経費等が上昇傾向にある中、熱海財政の持続可能性

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



給食費の無償化について 高齢者新規事業「いきいきポイント事業」について

【質問】 国は令和8年度から小学校児童1人当たりの給食費を月5,200円助成する。また本市は中学生と3歳以上の未就学児の給食費を市独自に無償化する。小学校給食費が国の助成額を超えた場合、増額分を市が補助していただけなのか。また、3歳以上の未就学児と中学生1人当たりの給食費はどれ程を見込んでいるのか。

【回答】 小学生の食料費に不足が生じている場合には、公費での負担を前提に考えている。なお、中学生の給食費は概ね月6,100円を見込んでいる。就学前児童については、副食費の無償化に加え、これまで保護者負担の主食費を無償化する。

【質問】 高齢者の「いきいきポイント事業」は、市でWAOONカードを作成し、町内会主催の活動に参加した場合にポイントを付与する。電子マネーとしてチャージ（交換）することで、市内店舗やタクシーで利用でき、ポイントの付与上限は1年間1人当たり1万円ポ

イント1万円であり、事業対象者は70歳以上である。しかし、この事業の参加者は限定される。市は特定の年齢に達した高齢者に、市内どこでも使用できる1万円の商品券を贈る福祉政策を実施できないか。

【回答】 特定年齢に達した方への市役所でのポイント付与が考えられる。議員提案については事業告知までに検討、判断していく。

高齢者外出支援対策の内容について 降雪による市民及び観光客への影響について

【質問】 令和8年度当初予算の3款2項1目老人援護費の高齢者外出支援対策の内容について説明を求め、今回事示された内容と以前から主張している利用券交付事業と内容が違うが、その理由についても説明願う。ポイント付与策やWAOONカード利用の対策は別建てで進められたいが。

【回答】 事業者の現状を踏まえると、利用券の回収・整理、市への請求等、新たな事務負担が生じることは避けたい。本事業の意図するところは、介護認定、介護サービス給付の現状を踏まえ、介護予防、※フレイル予防、さらに高齢者の社会参加を促すことを目的としている。このことにより、今後増加傾向で推移する医療費や介護保険料等の抑制を図りたいと考えている。また、70歳以上の方々がボランティア活動に汗を流されていること、町内会活動を支えていることを踏まえての考えから実施しようとするもの。

【質問】 2月8日の降雪による観光客等への交通の影響について今後どのような対応を検討していくか。

【回答】 週末や祝日を含む対応の重要性を認識した。観光客が集まる期間の対策が急務と考える。観光危機管理マニュアルの策定を進め、一般財団法人熱海観光局と連携して効果的な情報提供がされるよう検討整備していく。



たけべ たかし 議員
竹部隆

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■ 物価高騰対応事業 ■ 消防団員増加策

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから





たかい かずゆき
高井一幸 議員

日本共産党
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

■伊豆山土石流裁判で和解の道は ■水道水確保・寒冷気象と断水事故

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



非喫食の学校給食費は相当額を保護者に給付を 宿泊税の使途について

〔質問〕 政府は4月から公立小学校の給食費無償化を始めるが、合わせて本市では中学校での学校給食費無償化も始める。そこで欠席、不登校、フリースクールやアレルギーでお弁当持参など給食を非喫食の場合は給食費相当額を保護者に給付するべきでは。

〔答弁〕 まだ検討段階にある。

〔意見〕 食べることができなかつた場合は相当額を保護者に給付することは当然と考える。

〔質問〕 宿泊税は観光産業施策及び住民の暮らしの向上の財源となるが、住民の暮らしのためにどう使うのか。

〔答弁〕 宿泊税は観光振興のための目的税であり、福祉や教育に直接充当するものではないが、観光振興による地域経済の活性化は、税収増や雇用・所得の拡大を通じて市民生活にも波及する。令和8年度も渋滞緩和やバリアフリー化など市民にも資する取組を進めていく。

〔意見〕 基幹産業に利益が出れば自然と市民に滴り落ちるというトリクルダウンの経済理論であるが、政府がこの経済理論を使った結果、大企業は肥え太ったが失われた30年現象を引き起こし高騰物価、抑制賃金、長時間過密労働という経済社会を創ってしまった。二番煎じではなく、地方自治体本来の姿に戻って欲しい。

物価高騰対応生活応援クーポンについて

〔質問〕 物価高騰対策で1人1万円のクーポン配布案が示された。現金支給が有力な代案として考えられるが、なぜ市内限定のクーポンなのか。

〔答弁〕 プッシュ式で直接全市民に届けられること、また市内で消費してもらうことで、地域経済の活性化につながることから、クーポンでの配布を行うものが、事業者募集・クーポン作成・換金等の手間がかかるのではないかと、物価高騰対策なら、日用品の買い物が主(チェーン店の地域活性化には効かない。もっと言えば、熱海市民は市外へ買い物に出ることも多く、市内限定クーポンは不便。現金支給の方が合理的とみる。

〔質問〕 クーポンの事務に3,550万円の予算が計上されている。他の自治体では、郵便局で現金を受け取る例もあるようだが、現金支給の場合と比較されたか。

〔答弁〕 郵便局で、クーポン券の発送支援サービスのほか、現金書留による現金受取サービスを実施していることを把握したが、比較検討は行っていない。

〔意見〕 なぜ比較しないのか。クーポンありきの議論はおかしい。現金配布で経費が少なく済めば、その分市内の消費を促す施策ができる可能性もある。やるべきことをやっておらず、説明も不合理。原案のままなら、私は反対する。



やま だ かげあき
山田景照 議員

新政熱海
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

■学校等整備基金、学校施設補修・改修 ■熱海観光局のガバナンス

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質 疑 一 般 質 問



むろふしゆうぞう
室伏友三 議員

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(副委員長)
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 人とクマの「住み分け」
- パトロールや捕獲体制と人材確保

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



泉地区住民のクーポン券利用の範囲について 熱海における野生動物の管理と危機管理体制の在り方について

質問 議案第9号令和7年度熱海市一般会計補正予算第6号のうち物価高騰対応事業について、市民1人あたり1万円分のクーポン券を交付することのことだが、泉地区の場合に対応できる店舗も少なく生活活動の多くを湯河原町へ依存しているのが現状。クーポン券利用範囲を湯河原町内へ拡大する考えはないか。

回答 物価高騰の影響を受けた生活者への支援、家計支援を第一に考えている。利用可能範囲を市内の店舗のみとすることで市内消費の促進により経済の活性化、店舗・事業所の持続可能性が高まるとともに、地域内の持続的な発展等複数の効果が見込まれる。泉地区の状況は認識しているがご理解いただきたい。

要望 広域で使用できるクーポンとするか、現金支給に改めていただきたい。

質問 現在、児童生徒は防犯ブザーを携帯しているが、クマ対策としては常時音が鳴るクマベルの方が有効である。クマベルを配布する考えはあるか。

回答 熱海観光局において自然を生かした観光振興を目的に、世界的アウトドアブランドであるモンベル社と連携をすることから、モンベル社製のクマベルを導入する準備を進めている。まずは市内の小中学校に対し各20個を配布する予定である。また、学校や保護者、地域との連携を深めて指導・啓発を行っていく。

令和8年度熱海市国民健康保険事業特別会計予算について 重層的支援体制整備事業について



せんみょうじ
泉明寺みずほ 議員
女性の会
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

質問 従来の医療、介護、後期高齢者支援の納付金に加え、子ども子育て支援金が増加され、12億5千860万円が計上されている。この内、県へ納付する子ども子育て支援納付金分は2千697万2千円で、すべてを市民から徴収する新たな税金で対応する予定だが、基金の取り崩しで対応できないか。

回答 県から、標準税率に基づく賦課徴収を行うよう指導があったため、被保険者の皆様に負担いただくことになったものである。

要望 この事業については、速やかに情報をホームページへ掲載し、納税通知書を見た市民が唖然としたような措置を。

質問 従来からの医療、介護、後期高齢者支援に関する交付金を、来年度予算から1自治体辺り最大7割削減する方向である。市は先進的に取り組んできたが、今後はどうするのか。

回答 交付金の見直しの趣旨に鑑み、事業評価の徹底と見直しを進めながら引き続き行っていく。

質問 重層の事業経費の内、多機関協働事業費等について予算が計上されているが、地域の望むところになっているのか。

回答 支援を要する市民に最も近い存在である社会福祉協議会に事業の大半を委託しているが、実効性のある支援体制の構築には最も地域を把握する各地区の町内会組織が機能することが望ましい。

その他の質問項目

- 子ども・子育て支援条例制度
- 災害トイレ

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから





にいのようへい
新野陽平 議員

明日の熱海
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 人口増加のための住生活調査
- 林野火災に対する警報および警戒体制

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



民泊施設への苦情等に対する市の対応策について 市民の足であるバス路線維持について

質問 市内に民泊は
何件あり、市民からど
んな意見が寄せられて
いるか。それに対する
市の対応は。

答弁 昨年末時点の
届出件数は56件であり、
宿泊者による騒音やご
み出しルール不徹底、
不特定多数の出入りに
よる不安感等の意見が
寄せられている。それ
らにに応じて関係部署が
現地確認や注意喚起を
行くと共に所管である
保健所へ速やかに情報
提供を行い、事業者に
対する指導を依頼する。
要望 まずは挙がつ

てきた市民の声にしつ
かりと対応いただきた
い。ルールを無視する
事業者には本市も独自
条例を定め、市民向け
事前説明会の開催義務
化等運営体制の管理徹
底を指導いただきたい。

質問 市民の重要な
足であるバス路線維持
のため、「一日券十宿
への荷物配送」のよう
な観光客に訴求できる
商品をバス会社と開発
できるか。

答弁 路線維持には
観光客のバス利用も重
要と認識しているため、
利用促進策等はバス事

業者と意見交換してい
く。

意見 「補助で残
す」という観点ももち
ろんだが「乗って残
す」という観点も非常
に重要と考える。昨今
市内全域で繰り返され
るバスの減便も事業者
が民間企業である以上
採算性の追求は当然。
しかし、そのしわ寄せ
が最も支援を必要とす
る交通弱者に向けられ
ている現状は決して看
過してはいけない。

齊藤市政5期目の総括と6期目の出馬について 2月の積雪や寒波に伴う市の対応等について



かなもりかずみち
金森和道 議員

明日の熱海
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

- 市制施行90周年記念誌刊行
- 火葬場災害復旧工事の進捗状況等

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質問 齊藤市長は今年9
月に5期目の任期満了を迎
えるが、この4年間をどう
総括しているのか。

答弁 5期目の4年間は、
伊豆山地区の復興を最優先
としながら、観光・経済の
構造転換と、子育て・教育
をはじめとする住民福祉の
向上を推進し、熱海が持続
的に発展する基盤を整える
期間であったと総括してい
る。

質問 総括を踏まえ6期
目の出馬についてはどうか。

答弁 コロナ禍からの脱
却等については5期目で一
定の成果を出すことができ
たと考えているが、伊豆山
の復旧・復興については、
まだ道半ばである。また、
熱海観光局の本格稼働はこ
れからであり、高齢者福祉

についても新たな施策を開
始しようとしている。これ
らの課題に今後も取り組む
ため6期目についても、引
き続き市政を担いたい。

質問 2月8日の積雪や
寒波に伴い、水道管が凍結
破損、断水し、水道メータ
ーや給湯器回りで漏水が発
生した。これらの対策や対
応方法を伺う。

答弁 自宅で漏水を発見
した場合は、水道メータ
ーや給湯器付近に設置してあ
る止水栓を閉め、水を止め
た上で、本市が指定してい
る水道工事業者に修理の依
頼をお願いをする。また、
近隣の空き家などで漏水を
発見した際は水道温泉課ま
で連絡いただきたい。

※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



ごとう ゆういち
後藤雄一 議員

公明熱海
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

- ※コンパクトシティの取組
- 一般介護予防事業

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



※オーバートーリズム対策の方向性について

学校給食費無償化について

質問 学校給食費無償化において、年度途中に物価高騰により当初の金額では食材料の調達が困難となった場合、保護者からの徴収を行うことなく、これまでと同様の学校給食を提供するため、補正予算等による対応をいただけるのか。

答弁 学校給食費無償化は、教育活動の一環として、国が公立小学校児童に係る食材料費を負担し、市が上乗せ負担として、公立中学校の生徒に係る食材料費を無償とする。栄養士が献立に工夫を行ってもなお食材料費に不足が生じる場合には、補正予算等をお願いして、保護者負担を生じさせないよう公費での負担を前提としたいと考えている。

質問 花火大会終了時や週末を中心とした熱海駅周辺の道路の渋滞等、今後さらに悪化する可能性があるが、このような混雑や交通への影響について、※オーバートーリズムの観点からどのように認識しているのか。

答弁 混雑が深刻化してから対応するものではなく、市民の生活環境や安全性への影響を未然に抑えるための観光都市としての予防的な都市経営の一環として位置づけている。今後も、市と観光局が緊密に連携しながら、市民の日常的な移動や生活動線への配慮を重視し、観光振興と市民生活の調和を図る取組を着実に進めていく。

令和8年度熱海市一般会計予算のうち建築指導費について

質問 住政策調査・分析委託業務とは何か。

答弁 都市計画基礎調査などの既存データから、既存ストックにおける建物の用途、建築年、構造等を整理し、住宅供給動向を調査併せて国勢調査から人口、年齢構成、社会移動などの人口動態についても分析をするものである。

質問 空家も含め活用していくのか。

答弁 既存建物の更新や活用も、空家も含めながら考えていく。

質問 空家に関する市民からの通報は全市的なものか。通報を受けた場合、所有者に対し、どのように対応するのか。

答弁 通報は全市的なものであり、所有者への対応は、市が行える助言や指導、

法律に基づき実態調査を行い、適正な管理が行われていない空家の所有者に対して情報提供と管理を助言している。また、放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態の空家は、管理不全空家や特定空家として認定し指導・勧告を行うことができる。

質問 発生予防や利活用についてはどうか。

答弁 発生予防としては、将来、空家にならないよう所有者にセミナーを開催、利活用は、空家バンクの活用、相談先として、空家の除却や相続、維持管理、不動産会社で取扱いが難しい物件の流通支援などの総合相談窓口を整える、空家等管理活用支援法人等の事例も参考に検討していく。



かわぐち たけし
川口 健 議員

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

- 消防団員の定数見直し・処遇改善
- 宿泊税導入の成果と活用

2月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから





質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※____で表記されている言葉についての説明です。

P7

コンパクトシティ

住まい・交通・公共サービス・商業施設などの必要な生活機能を効率的に集約した便利で暮らしやすい都市のこと。

P7

オーバーツーリズム

観光地に多くの旅行者が押し寄せることによって、混雑や騒音、マナー違反などの問題の発生や、観光客受け入れのための開発に伴う環境破壊や景観破壊などにより、地域住民の生活や自然環境に悪影響を与える状態のこと。

P3

フレイル

年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態のこと。



傍聴のご案内

市議会では本会議や委員会の傍聴を受け付けています。手続きは簡単ですのでお気軽にお越しください。



傍聴の詳細はこちらから

●本会議

会議の開催当日に、市役所第3庁舎3階エレベーター横の傍聴受付までお越しください。

●委員会

各委員会の開催当日に市役所第3庁舎2階議会事務局までお越しください。



2月定例会 議決結果(本会議)

〈市長提出の議案等〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第1号 令和8年度熱海市一般会計予算	可決(多数)	議案第17号 熱海市情報公開条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第2号 令和8年度熱海市国民健康保険事業特別会計予算	可決(全員)	議案第18号 熱海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第3号 令和8年度熱海市介護保険事業特別会計予算	可決(全員)	議案第19号 熱海市伊豆山土石流災害に伴う固定資産税及び都市計画税の減免の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例	可決(多数)
議案第4号 令和8年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決(全員)	議案第20号 熱海市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第5号 令和8年度熱海市水道事業会計予算	可決(全員)	議案第21号 熱海市消防団員の定員、任免、給与及び服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第6号 令和8年度熱海市下水道事業会計予算	可決(多数)	議案第22号 熱海市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第7号 令和8年度熱海市温泉事業会計予算	可決(全員)	議案第23号 熱海市火災予防条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第8号 令和8年度熱海市初島漁業集落排水事業会計予算	可決(多数)	議案第24号 市道路線の認定について	可決(全員)
議案第9号 令和7年度熱海市一般会計補正予算(第6号)	可決(全員)	議案第25号 市道路線の廃止について	可決(全員)
議案第10号 令和7年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	議案第26号 市道路線の変更について	可決(全員)
議案第11号 令和7年度熱海市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	報告第1号 専決処分の報告について(工事請負契約の一部を変更する契約の締結について(熱海市火葬場災害復旧工事))	報告
議案第12号 令和7年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	報告第2号 専決処分の承認について(令和7年度熱海市一般会計補正予算(第5号))	承認(全員)
議案第13号 令和7年度熱海市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)	報告第3号 専決処分の報告について(工事請負契約の一部を変更する契約の締結について(第4分団詰所建築工事))	報告
議案第14号 令和7年度熱海市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)	報告第4号 専決処分の報告について(市水路のかしによる事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告
議案第15号 令和7年度熱海市温泉事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)	報告第5号 専決処分の報告について(工事請負契約の一部を変更する契約の締結について((仮称)伊豆山地区コミュニティ防災センター建設工事))	報告
議案第16号 令和7年度熱海市初島漁業集落排水事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)	同意第1号 教育委員会委員の任命について	同意(全員)

2月定例会 賛成・反対が分かれた議案等(本会議)

議員名・会派名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決結果
	稲村千尋	川口健	竹部隆	越村修	赤尾光一	杉山恭平	室伏友三	後藤雄一	新野陽平	金森和道		欠員	泉明寺みずほ	橋本一実	山田景照	
議案番号	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	公明	明日熱	明日熱		女性	市民ク	新政	共産	
議案第1号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	×	可
議案第6号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	×	可
議案第8号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	×	可
議案第19号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○	可

議長(5番 赤尾光一)は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。

議決結果 可=原案可決 否=否決

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退席=退 欠=欠席(早退・遅刻含む) 除=除斥

会派名 成風会=熱海成風会 公明=公明熱海 明日熱=明日の熱海

女性=女性の会 市民ク=熱海市民クラブ 新政=新政熱海 共産=日本共産党

討 論

議案第1号令和8年度熱海市一般会計予算 議案第6号令和8年度熱海市下水道事業会予算 議案第8号令和8年度熱海市初島漁業集落排水事業会計予算

反 対 高井一幸 議員

議案第1号において、伊豆山土石流災害被災地域の復旧・復興施策の前提として、責任などの問題を裁判所の判断に委ねるだけでなく、犠牲者、被災者の苦しみを和らげ、相互の理解と納得を土台とした和解の道を目指すべきである。また、答弁における、本市の基幹産業に利益があれば自ずと市民側に利益をもたらす、という論理は「失われた30年」を招いた国政の二番煎じであり問題である。

議案第6号・8号について、公共施設運営に民間企業を参入させる準備計画が引き続き進められているが、市民の財産であるインフラを民間企業の利益収受のために提供することはあってはならないことである。

以上のことから反対する。

議案第19号熱海市伊豆山土石流災害に伴う固定資産税及び都市計画税の減免の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例

反 対 泉明寺みずほ 議員

2年前の条例制定時、1年前の1年延長とする改正条例提出時に述べた反対の内容と同様に、いたずらに税に関する法の下での平等を阻害するような取扱いをすることは、課税権者である市長の裁量権の濫用であるとともに、被災者その他の市民との分断を招くことに繋がると心配することなどから反対する。

賛 成 越村 修 議員

当該地域の社会資本の復旧の状況や被災者の方々の負担軽減となることを勘案し、令和8年度においても引き続き市長の職権で一律に減免を行うことは必要であり、本条例の改正に賛成する。

委員報告

●観光建設公営企業委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第1号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第20号 議案第24号 議案第25号 議案第26号	可決 (全会一致)	議案第1号令和8年度熱海市一般会計予算のうち、第6款 観光商工費について、観光振興に係る経費として、本格始動する熱海観光局への運営費補助金等が、商工業振興のための経費として、事業者支援業務経費等が計上されている。他の付託議案とともに必要な措置と認める。

●総務福祉教育委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第17号 議案第18号 議案第21号 議案第22号 議案第23号	可決 (全会一致)	議案第9号令和7年度熱海市一般会計補正予算(第6号)については、定額減税を補足する給付経費や水道事業会計への繰出金等の減額補正、及び退職手当経費、物価高騰対応事業経費、学校等整備基金積立金等の増額補正と一般会計全般にわたる計数整理による補正が行われている。なお、第2款総務費 第1項総務管理費 第20目物価高騰対応事業の3億6千4百万円については、本市に住居登録のある市民に対して1人当たり1万円分の「くらし応援クーポン券」を給付するための経費であり、その財源は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援することを目的に、国から交付される物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金である。当該クーポン券は、市内事業者を対象に利用可能な店舗を募集した上で登録のあった店舗で一定期間内に利用できるとしているが、市内には、そもそも店舗が極めて少ない地区もあり、その利用について市民の間に大きな不公平が生じることとなり、全ての市民が物価高騰の影響を受けていることを鑑みると、給付は公平かつ迅速な方法とすることが肝要である。内閣府の調査で、過去に国が行った現金給付が消費行動に与えた割合は受給額の25%に留まり、残りは貯蓄に回っているとの結果もあるが、本市における店舗の所在の偏在性、給付の公平性や即時性を考慮した場合、現金による給付が最適であることから、今回の給付については、クーポン券ではなく現金によるものとするを求める※附帯決議案が提出され、全会一致で可決された。
議案第1号 議案第19号	可決 (賛成多数)	議案第1号令和8年度熱海市一般会計予算のうち、第3款民生費については、福祉関係法令に基づく扶助費、高齢者・障がい者・児童に関する福祉経費等が計上されている。他の付託議案とともに必要な措置と認める。
報告第2号	承認 (全会一致)	必要な措置と認める。

※P12の解説を御参照ください。

●広域行政推進特別委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第1号	可決 (全会一致)	必要な措置と認める。

●公共施設整備等特別委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第1号	可決 (賛成多数)	必要な措置と認める。

附帯決議とは

議会又は委員会において、議案の議決・採決に際し付される、その施行についての意見や要望を表明する決議のこと。議会としての意見を可否のみで表明することが困難な場合に、併せて附帯決議を議決することで、議会から事実上の意思表示がなされたという取り扱いとなる。なお附帯決議は法的拘束力を有しておらず、政治的・道義的に尊重されるべきものとどまる。

次回 熱海市議会 定例会



主な日程

6月 8日(月)	10:00～	本会議（議案上程）
6月 22日(月)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
6月 23日(火)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
6月 24日(水)	10:00～	観光建設公営企業委員会
6月 25日(木)	10:00～	総務福祉教育委員会
6月 29日(月)	10:00～	本会議（審議採決）

※日程は変更になる場合がございます。



次回の市議会だよりは、8月10日発行予定です。

<熱海市議会> 議長：赤尾 光一 副議長：杉山 恭平

<議会だより編集委員会> 委員長：橋本 一実 副委員長：杉山 恭平
委員：室伏 友三・新野 陽平・山田 景照